



技術協力「画像診断における病院のデジタル化促進プロジェクト」 引き渡し式の実施

2023年7月6日

7月6日、平田大使はピナール・デル・リオ県のアベル・サンタマリア病院にて実施された、日本政府の技術協力案件「画像診断における病院のデジタル化促進プロジェクト」を通し供与された機材の引き渡し式に出席しました。同プロジェクトは疾患の診断に必要な情報のうち、レントゲン画像等の画像情報をデジタル化するとともに、院内 LAN システムを構築し、医療従事者の間で共有可能にすることで、病院の診断の質及び業務の効率化に貢献するものです。同プロジェクトをとおり、今回供与式を実施した病院を含めた5つの病院に、画像情報を保存するサーバーやLANシステム構築に必要なネットワーク機器や端末が整備されました。これらモデルとなった病院で得られた経験をもとに病院のデジタル化が全国に拡大することが期待されます。

同式典にはカレル・ベルテレミ保健省情報通信局長、カミロ・ペレス・ピナール・デル・リオ県外国貿易・外国投資局長、リリアン・レオン同県保健副局長、ジョアン・アルバレス院長、葦田竜也JICAキューバ事務所長、病院職員及び COPEXTEL(情報統合技術輸出入公社)職員らが出席しました。



平田大使は、同病院が過去の医療分野における開発協力の対象となり、画像デジタル化機材、病理検査関連機材、低侵襲治療関連機材の供与を受けていることを強調し、JICA の継続的な技術研修及び能力育成の協力を感謝しました。そして、これらの技術協力がキューバ国民への医療サービスの質の向上に貢献すること期待すると述べました。

ジョアン・アルバレス院長は、画像の共有に必要な Wifi システムが病院全体に導入されたことに加え、同県の他の2つの病院とも画像の共有が可能になったことに言及し、日本政府と JICA に県内の医療サービスの質の向上に貢献したプロジェクトの実施に感謝しました。

式典後、出席者はそれぞれの病院に設置された機材を確認するため、病院内を見学しました。



在キューバ日本国大使館
開発協力班

Tel: (+53) 7204-3355, 7204-8904

メール: cooperacioneconomicscuba@hv.mofa.go.jp

ホームページ: www.cu.emb-japan.go.jp

Facebook: <https://www.facebook.com/EmbajadaJapon.Cuba/>

Telegram: http://t.me/EmbajadaJapon_Cuba